

教育目標：『心ゆたかで たくましく 自ら学ぶ とすっ子の育成』

やさしさいっぱい 元気いっぱい やる気いっぱい

鳥栖小だより第7号

令和5年6月27日(火)発行



鳥栖っ子

合言葉

～「つなぐ」～

コミュニティスクール

鳥栖市立鳥栖小学校

文責 校長 古賀 康弘



“手と手をつなぎ 心をつなぎ” みんなで助け合う みんなの笑顔のために



★なかよし集会、やさしい態度や言葉かけを★

6月23日(金)は、集会委員会の進行で、『なかよし集会』(meet 配信)が行われました。各学年1クラスを6班に分けて縦割り班

いじめをなくし 誰もが助け合い
相手を思い、仲良くすごし
戦争や争いのない
やさしさいっぱいの
平和な世界にしよう

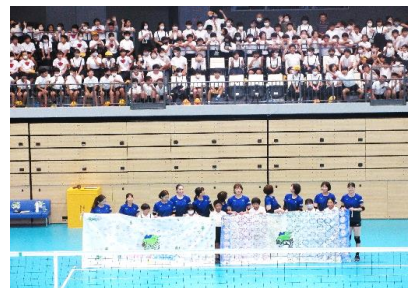
を作り、活動が行われました。プログラムは、ドレミの歌、『なかよし宣言』(右上)、ぽかぽか言葉の紹介、折鶴づくり(写真)などです。会の最後の私の話では、『今日のなかよし集会は、「みんながなかよく過ごすためにどうしたらいいか？」を一人一人が色々と考える時間になりましたね。先週こんなことがありました。皆さんも知っている通り、校舎の北側の駐車場の整備工事が始まり、木々が切られました。下校中それを見た高学年の男の子が、偶然通りかかった私に「校長先生、どうして木を切ってしまうのですか？」とするどい質問を投げかけました。私は、質問した男の子の気持ち等を考えると直ぐには答えることができず、とっても困ってしまいました。結局は、「残念だけど仕方ないんだよね」と曖昧にしか答えることができませんでした。その私の曖昧な言葉にその男の子は、笑顔で「わかりました」と言ってくれました。困っていた私は、その男の子のやさしさに救われた気持ちになりました。その男の子は切られた木々に対しても、そして困っている私に対してもやさしくできる人なんだなあと、その時強く思いました。「みなさんはこの話を聞いてどう思いますか？」人や物に対して「やさしい態度や言葉かけ」ができる人は、きっといつでも、どこでも、誰とでも



なかよくできる人だと思います。とすっ子も私のような大人もみんながそんな人になってほしいと思います。そこで、皆さんにお願いします。今日から一日一回は、人や物等に対して、「やさしい態度や言葉かけ」ができるようにしましょう。するとやさしさがつながり、やさしさいっぱいの鳥栖小になると思います。そして、みんながなかよく幸せに過ごせると思います。』と話しました。

★感動！初めてのサロンパスアリーナ見学★

6月23日(金)、4,5,6年生で久光スプリングスのサロンパスアリーナ見学に行きました。サロ



ンパスアリーナが鳥栖地区にあるということで、鳥栖小の子供たちを練習会に合わせて招待していただきました。滅多に経験できない機会をいただき、本当に有り難く思います。子供たちが招待していただいたお礼に、久光スプリングスの選手の皆さんの活躍を祈って横断幕(写真)を作製し、アリーナのコートで贈呈しました。その後のU19日本代表候補チームとの練習試合では、早速、その横断幕を掲げていただき試合が行われました。今回、子供たちは新設のアリーナを見るだけでなく、プロ選手や一流選手達の練習風景や試合を見ることができたり、代表の子供たちだけではありませんでしたが、選手の皆さんと交流ができたりと貴重な体験をしました。今後も、ふるさと鳥栖の誇りの一つとして、様々な機会を通して交流を続け、子供たちが様々なことを学べていけたらと思います。

鳥栖小では、ミニ図書館祭りが6月19日(月)～6月30日(金)の期間、開催されています。期間中は、図書委員さんが描いたポップによるお薦めの本の紹介、図書館クイズ、スタンプラリー、図書委員さんの出張読み聞かせ、3冊貸し出し等があります。図書館は、連日多くの子供たちで賑わっています。

